

産業技術記念館 トヨタコレクション企画展

「江戸のハイテク～ようこそ！和時計ワールドへ～」など開催

トヨタグループ13社が共同で運営するトヨタテクノミュージアム 産業技術記念館(名古屋市西区則武新町)では、開館15周年記念事業の一環として3月10日(火)から5月17日(日)まで、トヨタコレクション企画展「江戸のハイテク～ようこそ！和時計ワールドへ～」を開催する。

また、次代を担う子供たちを対象に、モノづくりを楽しく体験していただくための工作体験の他、F1カーの展示等、大人にも楽しんでいただけるイベント「春休み モノづくり キッズフェスタ 2009」を3月20日(金・祝)から4月5日(日)まで開催する。

なお、春休み期間の3月20日(金・祝)から4月5日(日)までは、より多くの方にお越しいただけるよう、小・中学生観覧無料とする。

企画展およびイベントの概要は、以下のとおり。

1. トヨタコレクション企画展「江戸のハイテク～ようこそ！和時計ワールドへ～」の概要

- (1) 期 間：2009年3月10日(火)～5月17日(日)
- (2) 場 所：産業技術記念館 特別展示室
- (3) 内 容：(主な展示物の詳細は別紙)

時計は16世紀に西洋から伝えられたが、江戸時代には日本の生活習慣に合わせ、季節によって単位時間の長さを変えられる世界で唯一の「不定時法」を刻む和時計が考案された。

今回はこの不定時法を用いた和時計を中心に、その巧妙なメカニズムや当時の優れたモノづくり技術を、トヨタコレクションの中から展示・紹介する。また、他分野の工芸、測量、生活道具なども展示する。〔展示総数約60点〕

開館15周年特別展示 「弓曳童子」田中久重作 <幕末>

関連イベント「からくり実演」(会期中の土・日・祝日、3回/日)

企画展会場にて、11:10、13:30、15:50(各20分程度)実演を予定。

・茶運び人形(近年の作品)

時計メカニズムが茶運び人形に应用されていることを、和時計(実物)、機構模型を用いて解説

・弓曳き人形(近年の作品)

トヨタコレクション

・日本のモノづくりの源流とも言える、主に江戸中期～明治初期のさまざまな分野(「からくり」、「測量・天文」、「銃・大砲」、「医療」、「絵画・書画」、「工芸」、「生活」等)にわたる貴重な科学技術資料。

2. 「春休み モノづくり キッズフェスタ 2009」の概要

(1) 期 間：3月20日(金・祝)～ 4月5日(日)までの15日間 (23日、30日の休館日を除く)

(2) 時 間：9:30～17:00 (入館受付は16:30まで)

(3) 内 容：

<毎日開催>

1) モノづくり体験<当館オリジナル>

催し名	内 容	対象(人数)	場 所
AA型ゴム駆動自動車プラモデル製作	展示プレス機でシャシーを加工し、ボディ等と組付ける。	小・中学生 希望者	自動車館 わくわく体験 コーナー
AA型乗用車携帯ストラップ製作	展示射出成形機でボディを加工し、シャシーと組付ける。		
ペーパー・クラフト製作	自動車館初代プリウスのペーパークラフト製作。	小・中学生 (300人/日)	自動車館 特設会場
展示車両模型製作	初代プリウスのプラモデル製作。	小・中学生 (100人/日)	
トヨタF1風船自動車製作	風船により走行するペーパー自動車の製作。		

2) 見学補助イベント

館内モノづくりスタンプラリー	展示場の各ポイントを巡るラリー。	小・中学生 (先着50人/日)	館 内
展示ベスト1投票	お客様が選出する展示物のベスト1を決定。	希望者	

3) 特別展示・体験、記念撮影

展 示 車 両	内 容	対 象	場 所
トヨタ F1カー (特別展示)	お客様のカメラにて記念撮影 (乗車不可)	希望者	自動車館
i-unit (常設展示)	i-unitの乗車体験と お客様のカメラにて記念撮影		

<3/28、29日のみ開催> 28,29日両日雨天時は、4/4,5日に順延

4) 展示車両の整備、試走公開および記念撮影会

概 要	日 時	場 所	
常設展示のトヨタトラックG1型をはじめ、初代クラウンやカローラなど11台の整備、試走を一般公開	車両点検・整備作業の一般公開	3/28(土) 10:00～12:00	東駐車場
	車両試走披露	3/28(土) 13:00～16:00	敷地内
		3/29(日) 10:30～16:00	
赤レンガを背景に撮影	記念撮影会	3/28(土) 11:00～16:00	東駐車場
		3/29(日) 10:00～16:00	

イベント参加は無料です。

【産業技術記念館のご案内】

産業技術記念館は「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さや素晴らしさを、次の世代を担う若い人々に広くお伝えし、社会の健全な発展に役立てていただくことを目的としてトヨタグループ13社の共同事業により設立、平成6年6月に開館。

実物本位で分かりやすく展示し、製造に必要な技能を実演や展示物を動かして説明するほか関連技術・研究開発も合わせて紹介。「モノづくり」に関する総合的な展示施設。

(1)所在地： 名古屋市西区則武新町4-1-35

TEL：052-551-6115

FAX：052-551-6199

(2)開館時間： 9：30～17：00（入館受付は16:30まで）

*休館日は、月曜日（祝日の場合は翌日）

(3)観覧料： 大人 500円、 中高生 300円、 小学生 200円

（春休み期間3/20～4/5は小・中学生観覧無料）

65歳以上 無料、 団体割引あり

*トヨタコレクション企画展は、上記観覧料のみでご覧いただけます

(4)ホームページ： <http://www.tcmi.toyota.co.jp>

<お問い合わせ>

当企画展に関するお問い合わせは、広報・イベントグループ 中條、伴野まで。

TEL：052-551-6111 / FAX：052-551-6199

以上

<展示構成と主な展示物>

(出展品 資料・文献など)

展示構成	主な展示物・資料
. 企画展展示：江戸中期～明治時代の和時計など(約30点)	
【和時計】 <17点>	檜時計 <江戸中期> ・重りを動力とし、家紋を入れた豪華な作りの大型檜時計 台時計 <江戸後期> ・重りを動力とし、滑車を使用している台時計 掛時計 <江戸後期> ・重りを動力とし、柱にかけて使用する掛時計 尺時計 <江戸後期> ・重りを動力とし、重りの下がる位置の目盛で時刻を知る尺時計 枕時計 <江戸後期> ・精巧な飾りが施され、大名時計とも呼ばれた枕時計 籠時計 <江戸後期> ・オランダ製時計を改造した携帯用の籠時計 卦算時計 <江戸後期> ・易占いに用いる算木に似た形の卦算時計 諫鼓鶏時計 <幕末～明治初期> ・文字盤の窓内に、日付、潮の干満、月の満ち欠けを表示する時計
【日時計】 <7点>	根付型磁石付日時計 ・磁石とセットで印籠や薬籠の根付に仕込んだ携帯用の日時計 正午計 ・太陽が真南にきたときに時刻を合わせるために使った測定具 時計書類 ・松代藩の月岡叙庵旧蔵の天文や時計に関する書類
【火時計】 <2点>	香時計 ・抹香で幾何模様を描いておき、その燃え進んだ長さで時刻を計った火時計
【その他】	茶運び人形の機巧部分 <江戸後期> ・江戸時代の代表的なゼンマイ仕掛けのからくり人形時計の機構が使われている
. 様々な分野の科学技術資料：江戸中期～明治時代の「工芸品」、「測量」、「医療」、「生活道具」	
<28点>	開化皿小学校之図、トランシット型測量器、蘭引、無尽灯 など
開館15周年 特別展示	弓曳童子 <幕末> ・からくり儀右衛門こと田中久重が作り上げたからくり人形の最高傑作

以上